

授業改善推進プラン 国 語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第一小学校

学年等		項 目	内 容
令和5年度 第4学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○物語文の学習に意欲的に取り組むことができる。 ▲説明文のような抽象的で語句に対するイメージが湧きにくいものに対して抵抗感がある。 ▲「聞く」の力が弱く、話し手の意図を考えながら聞けず、内容を取りこぼしてしまうことが多い。 ▲自分の考えをもつことはできるが、言語化して表現することが苦手な児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・必要なことを記録したり質問したりしながら話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えもつ力 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表す力
		具体的な授業改善の方策	・導入の際に教材を身近に感じられる工夫をする。 ・ペアやグループで話し合い、友達の意見を聞いて記録し、比較する活動を取り入れる。 ・書くときには、視点を絞って書く活動を数多く取り組んでいく。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○学習意欲を高めるために、ICTを用いた導入を工夫することでよい成果がみられた。児童が主体的に取り組めるような言語活動を設定することで主体的に取り組めた。叙述を根拠とし、考える力が少しずつ身に付いてきた。国語に留まらず、他教科でも振り返りなどの活動を取り入れ、書く力も身に付いてきた。 ▲大事なことを落とさずに聞くことには課題が残る。漢字の定着には個人差がある。 ▲具体的な場面での様子や心情の変化の読み取りに不安を感じる児童も多いので、実生活に即した場面を設定し、自分ごとに捉えて考える習慣を身に付けさせることで自信をもたせたい。
令和6年度 第5学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○読書に対する意欲が全体的に高い。 ▲話の内容から重要事項を抜き出して聞いたり、書いたりする能力が乏しい。 ▲伝えたいことをどのような言葉で表現すればいいのか分からず、文章に表現する力が乏しい。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・聞いたことや、文章から重要な事柄を抽出する力。 ・考えたことを、正しい言葉を用いて、文章などで表現する力。
		具体的な授業改善の方策	・文章内の重要な事柄に目を向ける素地を養うために、物語文では主人公の心情を表す文に赤の線を引き、情景を表す文には青の線を引く。説明文では作者の主張が現れる文に赤の線を引く指導を継続的に行う。 ・授業の振り返りを記入する際に「めあてと比べてどんなことができたか」「授業の中で重要な部分はどこだったか」に注目させ、日々の授業を行うことで、文章表現力の素地を養う。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	・聞いたことや考えたことを、正しい言葉を用いて、文章などで表現できるようにする。 ・語彙に乏しく伝えたいことを表現する力が乏しいため、表現する力を身に付ける。
令和7年度 第6学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	▲知識・技能における「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られる。複数の情報を関連付けたり、語句と語句や段落と段落の関係を表したりすることに課題がみられる。 ▲自分の考えを言葉や文章で表現することが難しい。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・読み取った内容から、必要な情報を収集・整理し、表や図にまとめることができる。 ・自分の考えを根拠や原因となる事実との繋がりをもとに、表現することができる。
		具体的な授業改善の方策	・説明文や物語文の中で、段落同士の関わりや語句と語句の関係性を意識しながら読む指導を行う。 ・筆者の結論や自分の意見を読み手や聞き手にとって、説得力のあるものになっているか問い、根拠や原因となる事実との繋がりを検討する授業を多く取り入れる。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	・筆者の結論や自分の意見を読み手や聞き手にとって、説得力のあるものになっているか問い、根拠や原因となる事実との繋がりを意識して、文章を読んだり、解体することができた。